

平成20年度第6回土地利用調整審査会 会議録

- 1 開催年月日 平成21年1月30日(金) 午前10時00分開会
午前10時45分閉会
- 2 出席委員 下里和夫
高見澤邦郎
村木美貴
山田正司 (五十音順)
- 3 欠席委員 野澤康
- 4 議事日程
日程第1 土地利用構想 まちづくり誘導地区の指定及び誘導計画の策定
(天神町地区)

日程第2 その他
- 5 議事
 - (i) 日程第1について
 - ア 事務局による報告
 - ・天神町まちづくり誘導地区区域に北側の東京農工大学の敷地を追加したことについて。
 - ・住民説明会及び住民アンケート調査の内容を踏まえ、まちづくり誘導計画(案)を策定したことについて。
 - ・今後のスケジュールについて。
 - イ 審議概要
 - ・誘導地区内には、都営住宅が点在し、民有地のほか社宅の敷地が多く占めているが、現在の地域のまちづくり形成には、CO₂排出量削減の都市づくりが必要とされていることから、地球環境という大きな視点で検討することも必要と考えられる。

今後、地区内の都営住宅など集合住宅の建替など想定することができることから、本誘導計画に、技術的な点として、透水性舗装や自然エネルギーの利用を記載することが望ましい。

このことから、今後における策定の検討により、環境への配慮として、行政が先行する環境基準のような内容を含めることができれば、地域の良

好きなまちづくりをリードすることが出来ると考える。

- ・ まちづくり誘導計画を策定するにあたり、土地利用の視点から、地域の特性を明確にするとともに、特性を活かした計画とする必要がある。
- ・ まちづくり誘導計画（案）の項目として、まちづくり誘導地区の必要性を明確にすることから「誘導地区の位置付け」を追記することが望ましいと考える。
- ・ 地区内における土地利用協議の際に、専門委員を設けるなど別の視点から土地利用の検討を行うなど、事務局として事前にシミュレーションすることも有効と考える。
- ・ 長期的な視点から、まちづくり誘導地区がまちづくりを形成するにあたり、良好な仕組みとなるよう事務局による更なる検討を要望する。

ウ 審議結果

本件については、今後、手続きの報告を受けることとし、継続審議とする。

(2) 日程第2 その他

次回の日程について、事務局にて欠席者と調整することとし、今後決定する。

以上、会議のてん末を記載してその相違ないことを証するため、ここに署名する。

会 長

高見澤 邦太郎

委 員（下里委員）

下里 和夫